

図3 嗅粘膜を嗅細胞のマーカである OMP により免疫細胞化学的に染色した蛍光顕微鏡像(A-E)および一般組織像 (F)。

(A-E) : OMP 陽性細胞は FITC (緑色) で標識されている。嗅上皮内の OMP 陽性嗅細胞を示す。粘膜固有層中には OMP 陽性の嗅細胞の軸索の束が走っているのが観察できる (矢頭)。

(A) (B) : 無前感作グループ、(A) 0ppb 曝露、(B) 2000ppb 曝露

(C) (D) : 前感作グループ、(C) 0ppb 曝露、(D) 2000ppb 曝露

(E) : 別室飼育グループ

5つのグループ間で染色性に差は認められなかった。

(F) : 嗅粘膜の光学顕微鏡像。嗅上皮中に、表層に支持細胞 (S)、深層に嗅細胞 (R)、基底膜に接して基底細胞 (B) が存在する。嗅粘膜中には嗅神経の束 (N) と静脈 (V) が観察できる。

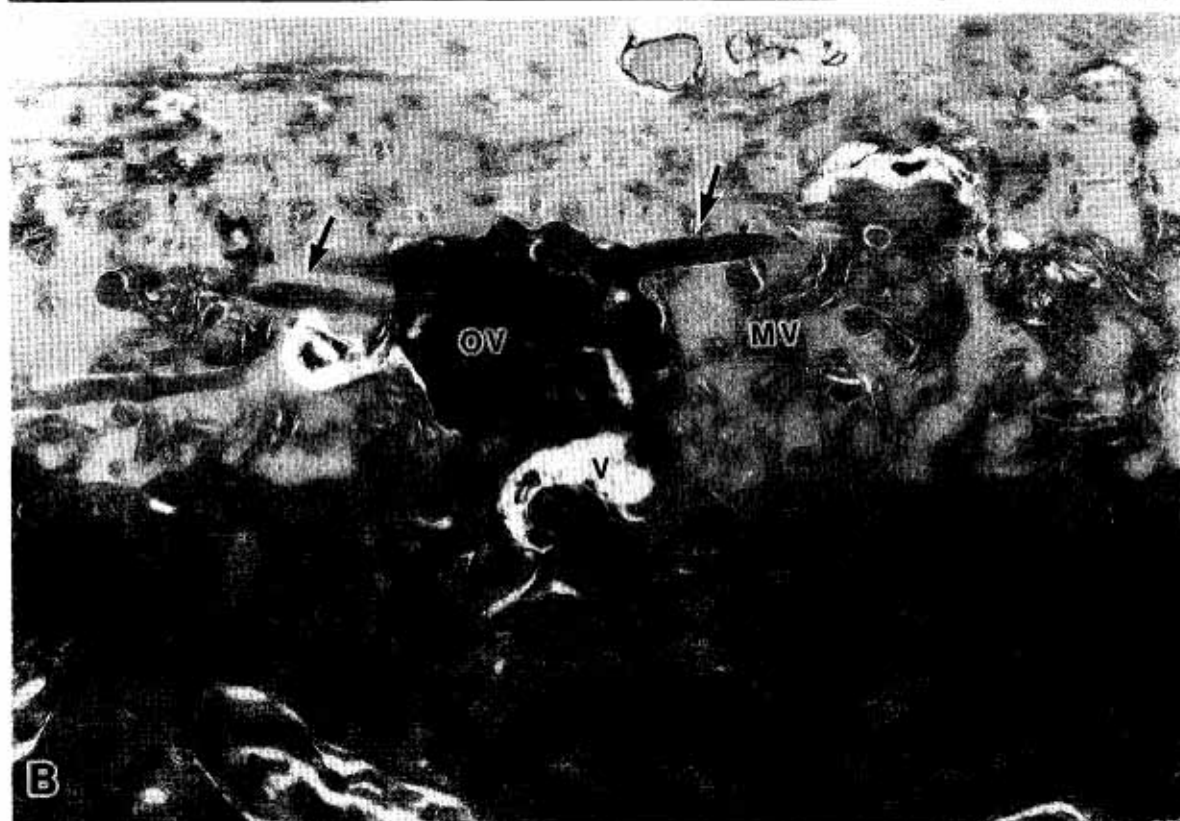


図4 マウス嗅上皮の電子顕微鏡像

(A) 無前感作 0ppb マウスの嗅上皮表面 たくさんの微絨毛 (MV) が観察される。嗅小胞 (OV) および絨毛 (矢印) が認められる。

(B) 前感作 2000ppb マウスの嗅上皮表面 微絨毛の顕著な減少が認められる。絨毛を有する嗅小胞が存在するが、空包 (V) を有するものが多い。